

わが国のウォーターフロントにおける水面夜景の演出に関する研究 —明治期から昭和初期にみる浮世絵版画の水面形態別にみた構図的特徴—

日本大学 正会員 ○稲葉 諒介
日本大学 正会員 横内 憲久
日本大学 正会員 岡田 智秀

1. 研究目的—わが国の都市部に位置するウォーターフロント（以下、WF）の商業空間は、内陸にはない非日常感や開放感などが得られることで人気を博している。特に夜間において商業施設の光が水面に映し出される様相である「水面夜景」は、WFならではの魅力といえよう。したがって、「水面夜景」の演出は、景観という観点においてWFの空間的価値を高めるものと認識する。

「水面夜景」の先行研究として、光源の種類やその輪郭の明瞭具合を分類したもの¹⁾、ネオン広告物の水面への映り込みの再現方法を検討したもの²⁾はあるが、「水面夜景」の価値を構図的に分析し、その特徴を示したものはみられない。そこで、本研究では日本人が好む「水面夜景」を導くために、夜景が注目されはじめる明治期から昭和初期における浮世絵版画（絵図）を対象に、「水面夜景」の構成要素の抽出および構図分析を通じて、水面に映し出された情景の特徴について明らかにする。

2. 分析方法—分析対象絵図は、夜景表現として「光線画」の手法を生み出し普及させた小林清親の「謎解き浮世絵叢書 東京名所図」³⁾と、水辺を多数含む浮世絵版画を近代で復興すべく活躍した川瀬巴水の「木版画集」⁴⁾の全320点とした。このうち、夜景かつ水面を有する絵図44点より、水面形態と陸域や水平線の位置関係から分類できた39点について、「対岸型」「流軸型」「両岸型」「水平線型」の4型を得た（図1）。表1はこれらの型別に、「(i) 光の構成要素」（A. 自然光, B. 人工光）と「(ii) 光以外の構成要素」（C. 自然物, D. 人工物, E. 人物・動物）に

分類し、水面に映し出されている要素（表中●印）と、水面を除く絵図中に描かれている要素（表中○印）および各要素の合計数を示したものである。

3. 結果および考察—表1に示すように、最も該当数が多かった水面形態（型）は「対岸型」であり、続いて「流軸型」「両岸型」「水平線型」となる。以降では、型ごとに構図的特徴を述べていく。

(1) 対岸型—この型は、4型のうち最も多様な人工物と、唯一の自然物として「⑦樹木」（表1●印）の映り込みが表現されたものである。この特徴は、対岸の樹木群が水面に映り込むことで水面の暗さに一層深みのある闇を創出し、絵図全体に夜の暗がりが増強される中で、水面上の月光と人工光および多様な人工物の陰影が引き立てられた構図となり、闇の中の多様な倒景が享受できる。

(2) 流軸型—特徴は「⑩橋」（表1●印）が7割もの割合で水面に映し出され、流軸を作り出す両岸を橋の陰影がつかぬというものである。水面上の光は「月光」のみならず両岸からの「人工光」により流軸方向が増強されるように水面全体を浮かび上がらせ、その中で「人工物」と「人物」が同時に映し出されることで、両岸の生活景が水面上で見て取れる。この両岸の生活景は、水面上の両岸をつなぐ橋の陰影により、その一体感がより強調されている。

(3) 両岸型—視点が存在する手前側の陸上と対岸が同時に描写されたこの型は、水面には人工物と自然物ともにほとんど存在せず、「光」のみが中心となって構成されている（図1、表1）。その特徴は対岸側の「月」や人工

水面形態	対岸型	流軸型	両岸型	水平線型
定義	水面が絵図を横切るように描かれており、水面と対岸のみが描かれているもの	絵図の手前から奥にかけて水面の幅が狭くなるように水面が増強されているもの	手前の岸と対岸で水面を挟むような構図になっているもの	水面の奥に明瞭な対岸はなく、水平線が広がるもの
該当絵図例（一部掲載）	[佐渡夷港 (文献4)]	[五本松雨月 (文献3)]	[大川岸一之橋遠景 (文献3)]	[松島双子島 (文献4)]

図1 水面形態（型）の定義と該当絵図例

キーワード 水面夜景, 水面形態, 構図分析, 浮世絵版画, ウォーターフロント

連絡先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-8-14 日本大学理工学部まちづくり工学科岡田研究室 TEL03-3259-0484

光の光線が手前側の岸边まで届いている絵図が4割存在し、兩岸の一体感が強調されている。さらに手前の陸上には、対岸を眺めるための視点場を意識させる事物(人物、犬、常夜灯)が表現され、鑑賞者自身が対岸を眺めているようなイメージを高めていると考えられる。

(4) 水平線型—水面上には「②月光」(表1●印)のみが中心となって映し出され、水面夜景としては最も要素の少ない型である(図1, 表1)。水平線のある沖合方向から「月光」が差し込むことで水面上が明るく浮かび上がり、その明るさによって陸上の要素は自然物中心に、それらのシルエットが強調された構図で共通する。

4. まとめ—以上より、水面形態ごとにみた「水面夜景」として、4種の型ごとにそれぞれ違った情景をもつこと

を明らかにし、さらに各型の構図的特徴について明示した。その特徴とは「対岸型」「流軸型」では「人工物」と「人工光」による水面上の生活景の強調をはじめ、「兩岸型」では多様な水面反射光による兩岸の一体感の強調、「水平線型」は月の水面反射光による水面上の自然物のシルエットの強調といったものであった。

これらより、水面に投影される多様な光や陰影による、豊かな水辺の夜景が存在することを明らかにした。

参考文献

- 1) 西林大介・岡田昌彰:「ウォーターフロント夜景の特長とその評価に関する研究」, 土木学会海洋開発論文集Vol. 21, pp. 199-203, 2005.
- 2) 布川茂樹・田中一成ら:「水面に映り込む光環境の把握」, 土木学会 景観・デザイン研究講演集No. 3, pp. 22-27, 2007.
- 3) 小林清規:「謎解き浮世絵叢書 東京名所図」, 二玄社, 2012.
- 4) 川瀬巴水:「木版画集」, 阿部出版, 2009.

表1 水面形態(型)別にみた構成要素と該当数

水面形態	絵図名	掲載文献(参考文献に対応)	製作年	①光の構成要素					②光以外の構成要素					E.人物動物				
				A.自然光			B.人工光		C.自然物			D.人工物						
				①月	②月光	③星	④室外灯	⑤室内灯	⑥山	⑦樹木	⑧雲	⑨建物	⑩橋		⑪舟	⑫護岸		
対岸型(12点)	夜の新川	4	大正8年			○	○							○				○●
	小千谷旭橋	4	大正10年	○●	○●					○				○●	○●			○●
	月明の加茂湖	4	大正10年		○●			○●		○				○●				○●
	佐渡夷港	4	大正10年				○●	○●	○	○●	○	○●	○●				○●	○●
	熊本春日町	4	大正11年		○●			○●		○	○●		○●				○●	○●
	出雲松江	4	大正13年	○	○●			○●		○●	○	○●			○●		○●	○●
	桜田門	4	昭和3年		○●		○●			○●	○	○●					○●	○●
	遠州新居町	4	昭和5年	○●	○●			○●		○		○●		○●	○●		○●	○
	二重橋	4	昭和5年		○●		○●			○●	○	○●		○●			○●	○●
	牛堀	4	昭和5年					○●		○●	○	○●			○●	○		○●
	日光湯元温泉	4	昭和12年		○●		○●		○●	○	○	○●					○	○
	月夜の富士(河合橋)	4	昭和22年		○●			○		○●	○	○	○●	○●	○●	○●		○
○合計[点(%)] N=12				3(25.0)	9(75.0)	1(8.3)	5(41.7)	9(75.0)	6(50.0)	9(75.0)	7(58.3)	11(91.7)	4(33.3)	6(50.0)	11(91.7)	7(58.3)		
●合計[点(%)] N=12				2(17)	9(75.0)	0(0.0)	4(33.3)	7(58.3)	1(8.3)	6(50.0)	0(0.0)	7(58.3)	4(33.3)	6(50.0)	7(58.3)	5(41.7)		
●/○(%)				66.7	100.0	0.0	80.0	77.8	16.7	66.7	0.0	63.6	100.0	100.0	63.6	71.4		
流軸型(10点)	東京小梅舟夜図	3	明治9年	○	○●	○		○●		○		○		○		○	○●	
	五本松雨月	3	明治13年	○	○●		○	○●		○	○	○		○●			○	
	今戸橋茶亭の月夜	3		○	○●		○●	○●		○		○●	○●			○●	○●	
	御厨橋之図	3					○			○	○	○	○●				○	
	御茶ノ水蛭	3			○			○●					○	○●			○●	
	鹿児島甲突川	4	大正11年	○	○●		○		○	○	○		○●		○			
	但馬城崎	4	大正13年				○●	○	○	○	○	○●	○●	○●	○	○	○	
	滝の川	4	昭和4年	○	○●		○●	○●		○		○	○●		○	○	○	
	大森海岸	4	昭和5年		○●		○●			○	○	○	○●	○●	○	○●	○	
	大鰐温泉(青森県)	4	昭和10年		○●			○●	○	○●		○●	○●		○●	○●	○●	
○合計[点(%)] N=10				5(50.0)	8(80.0)	1(10.0)	7(70.0)	7(70.0)	3(30.0)	9(90.0)	5(50.0)	8(80.0)	8(80.0)	4(40.0)	7(70.0)	9(90.0)		
●合計[点(%)] N=10				0(0.0)	7(70.0)	0(0.0)	4(40.0)	6(60.0)	0(0.0)	2(20.0)	0(0.0)	3(30.0)	7(70.0)	4(40.0)	2(20.0)	5(50.0)		
●/○(%)				0.0	87.5	0.0	57.1	85.7	0.0	22.2	0.0	37.5	87.5	100.0	28.6	55.6		
兩岸型(9点)	大川岸一之橋遠景	3	明治13年	○●	○●		○●	○●		○	○	○●	○●			○●	○●	
	今戸夏月	3	明治14年	○	○●			○		○●		○					○	
	金沢なかのくるわ	4	大正9年	○	○●		○●	○		○		○				○	○	
	新潟五彩堀	4	大正10年				○●	○●		○		○●	○			○		
	おぼろ夜(宮島)	4	大正10年				○			○								
	星月夜(宮島)	4	昭和3年		○●	○				○								
	明石町の雨後	4	昭和3年				○●	○●			○	○			○●		○●	
	荒川の月(赤羽)	4	昭和4年	○●	○●			○●	○●		○●	○	○		○●	○●	○●	
水戸瀧沼広浦	4	昭和21年	○●	○●					○	○	○							
○合計[点(%)] N=9				5(55.6)	6(66.7)	1(11.1)	5(55.6)	6(66.7)	3(33.3)	8(88.9)	4(44.4)	6(66.7)	2(22.2)	2(22.2)	4(44.4)	5(55.6)		
●合計[点(%)] N=9				3(33.3)	6(66.7)	0(0.0)	3(33.3)	4(44.4)	0(0.0)	2(22.2)	0(0.0)	2(22.2)	1(11.1)	2(22.2)	2(22.2)	2(22.2)		
●/○(%)				60.0	100.0	0.0	60.0	66.7	0.0	25.0	0.0	33.3	50.0	100.0	50.0	40.0		
水平線型(8点)	高輪牛町籠月景	3	明治12年		○●			○●		○	○	○			○	○●	○	
	陸奥三島川	4	大正8年	○	○●							○		○			○	
	寺泊の夜雨	4	大正8年					○			○	○		○			○	
	月の松島	4	大正8年	○●	○●						○●	○						
	出雲日乃御碕	4	大正13年		○●						○	○						
	秋田八郎湯	4	昭和2年		○●	○				○	○							
	小樽の波止場	4	昭和8年		○●		○●				○		○●	○●			○	
松島双子島	4	昭和8年	○●	○●					○	○●	○			○●		○●		
○合計[点(%)] N=8				3(37.5)	7(87.5)	1(12.5)	2(25.0)	2(25.0)	3(37.5)	7(87.5)	6(75.0)	3(37.5)	1(12.5)	3(37.5)	1(12.5)	5(62.5)		
●合計[点(%)] N=8				2(25.0)	7(87.5)	0(0.0)	1(12.5)	1(12.5)	0(0.0)	2(25.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(12.5)	2(25.0)	1(12.5)	1(12.5)		
●/○(%)				66.7	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	28.6	0.0	0.0	100.0	66.7	100.0	20.0		

[凡例] ○印:水面を除く絵図中に描かれている要素/●印:水面に映しだされている要素